



水戸市立図書館から 幼児におすすめの本 2018年版

<p>あかちゃんかたつむりのおうち [E ア]</p> <p>いとう せつこ ぶん 福音館書店 2012年</p> <p>小さいおうちをせおった、あかちゃんかたつむり。どんなにたべても、おなかがぺっこぺこ。虫たちに、「そんなにたべると、おうちにはいれないよ」といわれてしまいます。</p>	<p>えらいこっちゃんのようちえん [E エ]</p> <p>かさい まり 文 アリス館 2017年</p> <p>初めてのようちえんは、家とは違うことがたくさんあって、びっくりすることばかり。「えらいこっちゃん」を合言葉に、ようちえんはどんなところか見てみましょう。</p>
<p>おはよう、はたらくくるまたち [E オ]</p> <p>シェリー・ダスキー・リンカー 文 ひさかたチャイルド 2017年</p> <p>朝が来て、5台のはたらく車たちが目を覚ましました。広い工事現場も、みんなで力を合わせれば大丈夫。車たちは、今日も1日、元気にはたらきます！</p>	<p>このゆびとまれ [E コ]</p> <p>平出 衛 さく 福音館書店 2003年</p> <p>「いっしょにあそぶもの このゆびとまれ！」と女の子が指を立てて、ちょうちょに声をかけます。すると、いろんな動物がやってきます。ちょうちょは、とまってくれるでしょうか？</p>
<p>ごはん [E ゴ]</p> <p>平野 恵理子 作 福音館書店 2015年</p> <p>日本人の力のみなもと、ごはん。たくさんのごはん料理が、色鮮やかに紹介されています。たきこみごはん、おすし、どんぶりもの。どれがたべたいかな？</p>	<p>ちょっとだけまいご [E チ]</p> <p>クリス・ホートン 作 BL出版 2012年</p> <p>巣から落ちて、まいごになったちびフクロウ。親切なリスに助けられながら、お母さんフクロウを探しますが……。</p>
<p>たまちゃんとあかちゃん [E タ]</p> <p>どい かや さく 学研プラス 2016年</p> <p>猫のたまちゃんにとって、初めての赤ちゃんとの生活。赤ちゃんの泣き声やいたずらにちょっとうんざりしながらも、まるで姉妹のように過ごす様子を、やさしいイラストで描きます。</p>	<p>とんねるをぬけると [E ト]</p> <p>片山 健 さく・え 福音館書店 2017年</p> <p>電車にのって、しゅっぱーっ！トンネルをぬけると、電車の中の子どもたちが雪だるまにへんしん！まだまだトンネルはつづきます。次は何がおこるでしょう。</p>
<p>ねえ、してる？ [E ネ]</p> <p>かさい しんぺい 作 岩崎書店 2017年</p> <p>お兄ちゃんになることを心待ちにしていたのに、弟がうまれたら、急に寂しくて変な気持ちになった僕。そんな僕に、ぞらさんがやさしく語りかけます。「ねえ、してる？」</p>	<p>ぼくとぼく [E ボ]</p> <p>ひともじいれかえあそび</p> <p>鈴木 のりたけ 作 小学館 2017年</p> <p>ぼくとぼく。一文字入れ替えたら、ぼくがぼくになっちゃった！頭の文字を入れ替えるとまったく違う意味になってしまふ言葉の面白さと、ユニークなイラストが楽しい絵本。</p>
<p>ぼくのせかいをひとまわり [E ボ]</p> <p>M. W. ブラウン ぶん 評論社 2001年</p> <p>ぼくの目から見た大人の世界ってどんなものでしょう？小さな子どもでも、自分の世界を持っています。カラーとモノクロのページの差が印象的です。</p>	<p>ほげちゃんとかいぬのペロ [E ホ]</p> <p>やぎ たみこ 作 偕成社 2016年</p> <p>ほげちゃんは、ゆうちゃんの大事なくまのぬいぐるみです。ゆうちゃんのお家でこいぬを預かることになり、ほげちゃんはおもしろくありません。そこで、ほげちゃんがとった行動は？</p>

*リスト中の[]内は、水戸市立図書館で使用している請求記号です。